

院外処方せん様式の変更および検査値の記載について

当院では2020年1月27日より当院では保険薬局と連携して外来患者さんにより安全で安心な医療を提供することを目的に、院外処方せんに患者さんの検査値の一部を掲載することにいたしました。

記

1. 処方せん用紙をA5版（縦）からA4版（横）に変更します。
用紙の中央に切り取り線（患者さんの自由意思で切り離すことが可能）があります。
2. 3ヶ月以内の直近検査値を記載します
※ 記載される検査値は過去3ヶ月以内に測定された直近の値です。
（空欄の場合は、3ヶ月以内測定された値がありません。）
※ 患者さんの希望や処方医の判断で記載されない場合があります。
3. JAHIS標準QRコードを記載します。

【参考資料】

- ・院外処方せんの変更のお知らせ
- ・院外処方せんに記載されている検査値一覧

本件に係る問い合わせ先
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
薬剤部調剤室
電話：03-3603-2111（内線5332）

以上

院外処方せんの変更のお知らせ

2020年1月27日(月)より、院外処方せんが以下のように変更になりますのでお知らせいたします。

1. 院外処方せん大きさがA5(縦)からA4(横) サイズへ変わります



(今までの院外処方せん)



(新しい院外処方せん)

2. 院外処方せんの右半分に検査値の一部が表示されます

当院では保険薬局と連携して外来患者さんにより安全で安心な医療を提供することを目的に、院外処方せんに患者さんの検査値の一部を掲載することにいたしました。



検査項目	WBC	Neutro#	Hb	PLT	PT-INR
月日	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02
結果	4.9	3.2	18.5	107	0.94
基準	3.3~8.6 (10 ³ /μL)	(10 ³ /μL)	男13.7~16.8 女11.6~14.8 (g/dL)	150~348 (10 ³ /μL)	
検査項目	AST (GOT)	ALT (GPT)	T-Bil	CRE	eGFRcre
月日	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02
結果	15	20	1.0	0.80	90.8
基準	13~30 (U/L)	男10~42 女7~23 (U/L)	0.4~1.5 (mg/dL)	男0.65~1.07 女0.46~0.79 (mg/dL)	(mL/min/1.73m ²)
検査項目	Na	K	HbA1c (N)	CK	
月日	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	2018/11/02	
結果	140	5.0	5.5	30	
基準	138~146 (mmol/L)	3.6~4.8 (mmol/L)	4.9~8.0 (%)	男59~248 女41~153 (U/L)	

(検査値表示内容)

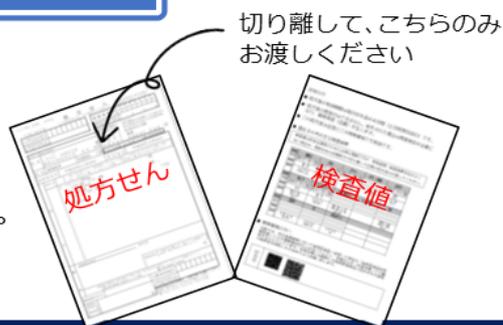


どんなメリットがあるの？

- 保険薬局の薬剤師が検査値を確認することで、お薬の量が患者さんの状態に合っているか、お薬による副作用の初期症状がないかを確認しやすくなります。
- 検査値確認を含めた処方監査の結果、気になった点があれば当院に対して問い合わせがあります。

検査結果を薬局に伝えたくない場合は

- 院外処方せん中央の点線部分で切り離し、左側の「処方せん」のみ渡してください。
- お薬による治療を安全に行うためには検査値の確認は重要です。保険薬局に渡されることをお勧めします。



院外処方箋に記載されている検査値一覧表

2020年1月作成

略名	項目名称	当院基準値	単位	検査内容
WBC	白血球数	3.3~8.6	10 ³ /μL	白血球数・赤血球数・血小板数は血液1μL(1mLの1/1000)にどれだけの数が含まれているのかを示します。白血球は身体の中で炎症が生じた場合や感染症・血液疾患等で増減します。ヘモグロビンは赤血球中の酸素を運搬する物質の量を示します。低下している場合は貧血、増加している場合は多血状態です。血小板は出血を止める働きをし、血液疾患等で増減します。
Hb	ヘモグロビン	男性13.7~16.8	g/dL	
		女性11.6~14.8		
PLT	血小板数	158~348	10 ³ /μL	
Neutro	好中球	1.7~6.3	10 ³ /μL	白血球は好中球・リンパ球・単球・好酸球・好塩基球などの様々な種類があり、その比率を%や絶対数#で示します。好中球は細菌を攻撃し免疫に関与します。好中球・好酸球・好塩基球を総称して顆粒球と言います。幼若な顆粒球は感染や血液疾患で血液中出现することがあります。
PT-INR	プロトロンビン時間(PT)国際標準比	-		抗凝固薬(ワルファリン)服用中の薬効評価の指標です。血液が固まる(凝固)ために必要な、たんぱく質の働きなどを総合的に判断するPT検査結果を表したもので、PT-INRが高いほど血液の固まり方が弱いことを示します。
AST(GOT)	アミノ基転移酵素	13~30	U/L	肝臓にどのくらい負担がかかっているか、肝細胞の障害の程度を示します。脂肪肝、急性・慢性肝炎、肝硬変などで増加する他に心臓、赤血球、筋肉などの病気で増えることもあります。
ALT(GPT)		男性10~42	U/L	
		女性7~23		
T-BIL	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	皮膚が黄色くなる「黄疸」の程度がわかります。肝胆道系疾患、ある種の貧血で高くなります。また、体質が関係する場合もあります。
CRE	クレアチン	男性0.65~1.07 女性0.46~0.79	mg/dL	腎臓の働きをみる検査です。腎臓から尿に排泄される老廃物なので、腎臓機能が低下すると増加します。クレアチンは筋肉に由来する物質なので、筋肉量の多い人はやや高め、少ない人はやや低めとなります。e-GFRは血清クレアチン値から計算された、腎機能の指標です。体表面積1.73m ² あたりの値で示されています。
e-GFR	推算糸球体ろ過量	60以上	mL/分/1.73m ²	
Na	ナトリウム	138~145	mmol/L	電解質といい生体内の機能を維持するため一定のバランスに保たれている物質(陽イオンと陰イオン)です。腎臓機能、脱水、ホルモンの異常などでバランスが崩れると様々な症状を引き起こします。
K	カリウム	3.6~4.8	mmol/L	
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.9~6.0	%	ヘモグロビンと糖が結合した物質であり、過去1~2ヶ月間の平均的な血糖状態を反映します。基準値は糖尿病の治療目標とは異なり、目標HbA1c値は患者個々で主治医が設定します。
CK	クレアチンキナーゼ	男性59~248 女性41~153	U/L	筋肉障害の程度がわかります。骨格筋、心筋、赤血球等に含まれていて細胞破壊により血液中に増加します。